

2018年度

聽 講 生
出 願 手 続 要 項



立 命 館 大 学
立命館大学大学院

目 次

1. 学 部	1
2. 大学院	13
3. 学年暦	19
4. キャンパスマップ	24
5. 出願書類	
個人情報取扱いに関する同意書	
聴講受講科目申請票および聴講願	

学部 聴講生制度について

立命館大学では、社会人、市民のみなさんの学問的・実学的興味関心にこたえるものとして、聴講生制度（聴講生として授業を履修する制度）を設けています。聴講を志望される方は、以下の諸点にご留意のうえ、所定の手続きをおこなってください。

本学の聴講制度は、履修した授業科目の単位授与は行いません。単位修得を志望される方は、科目等履修生制度を設けていますので「科目等履修生出願手続要項」をご覧ください。

I. 聴講生制度の概要

1. 2018年度に聴講生の受入を行う学部

衣笠キャンパス	法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部
びわこ・くさつキャンパス (BKC)	経済学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、スポーツ健康科学部
大阪いばらきキャンパス (OIC)	経営学部、政策科学部、総合心理学部

2. 聴講科目

(1) 聴講科目

本学で開講している科目の中から、興味関心に応じて科目を聴講できます。ただし、外国語、演習、研究入門、講読、実験、実習等定員の定められている科目等は聴講できません。

聴講できる科目については、事前に聴講しようとする学部事務室（OICは学びステーション）に照会してください。

(2) シラバス（講義概要）および時間割

聴講生が履修できる科目のみのシラバスおよび時間割はありませんので、3月中旬の時間割が確定する時期以降に聴講を志望する学部事務室（OICは学びステーション）にて、開講予定科目を確認してください。シラバスは、立命館大学のホームページで3月9日（金）午前10時から確認できます。

〔立命館大学シラバス〕

〔立命館大学ホームページ→在学生の方→シラバス→学外向け〕

3. 聴講できる単位数

当該年度に聴講できる単位数は、18単位（複数学部にまたがって聴講する場合も含む）が上限です。

4. 授業時間

第1限 (1・2時限)	第2限 (3・4時限)	第3限 (5・6時限)	第4限 (7・8時限)	第5限 (9・10時限)	第6限 (11・12時限)	第7限 (13・14時限)
9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10

()内は理工学部・情報理工学部・生命科学部の時限を表します。

Ⅱ. 出願手続

1. 出願資格

聴講生の受講資格は、聴講に必要な学力があると学部長が認めた者としてします。

※他の大学、短大ならびに大学院に在籍しながら（通信教育を含む）履修を志望する方は、所属する大学（短大・大学院）の許可書を提出してください（自由形式）。

※日本国籍を有しない方は、履修の期間に相当する日本国の在留資格を有することが必要です。なお、在留資格が「留学」の場合は、履修時間数の要件がありますので、詳しくは各キャンパスの国際教育センターで確認してください。

※国際関係学部における、科目名が英語表記の授業の履修を申請する方は、英語で授業を進めることから、TOEFL-iBT® 80点以上のスコアが必要です。

2. 出願受付場所

各学部事務室

※ただし、政策科学部、経営学部、総合心理学部への出願は、OIC 学びステーションで受け付けます。

※なお、法学部への出願は、春学期のみ、衣笠学びステーションで受け付けます。

3. 出願受付期間

春学期 3月20日（火）～3月23日（金） 13:00～17:00

秋学期 ・秋学期に2018年度はじめて出願する場合

8月27日（月）～8月29日（水） 13:00～17:00

・本学を当該年度春学期に卒業して秋学期にはじめて出願する場合または春学期より引き続き履修する場合で秋学期科目を登録・変更する場合

9月6日（木）、7日（金）、10日（月） 13:00～17:00

4. 出願書類

(1) 聴講願および聴講受講科目申請票（本要項の裏表紙のもの）1枚

(2) 学生証写真貼付用紙（本要項に同封のもの）1枚

「Ⅰ. 学生情報」に、上記(1)「聴講願および聴講受講科目申請票」に記載した学部名（複数の学部にもまたがって申請する場合でも、1つの学部名）を記入してください。また、生年月日、氏名、アルファベット表記（日本国籍を有しない方のうち特別永住者でない方のみ）を記入してください。

(3) 個人情報の取扱いに関する同意書（本要項に綴じ込みのもの）1枚

立命館大学では、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守するために、「学校法人立命館個人情報保護基本方針」を定め、個人情報の適切な管理運用を行っています。後掲の「立命館大学における個人情報の取扱いについて」を熟読のうえ、必要事項を記入してください。

(4) 日本国籍を有しない方は、履修の期間に相当する日本国の在留資格を有することを証明する在留カード、特別永住者証明書のいずれかの写し

(5) 国際関係学部における、科目名が英語表記の授業の履修を申請する場合は、過去2年以内に受験したTOEFL-iBT® 80点以上のスコアシート

(6) 他の大学、短大ならびに大学院に在籍しながら（通信教育を含む）履修を志望する場合は、所属する大学（短大・大学院）の許可書（自由形式）

※ (1)「聴講願」と(2)「学生証写真貼付用紙」に貼付する写真は、最近3ヶ月以内に撮影したカラー顔写真（タテ3cm×ヨコ2.4cm）としてください。

5. 聴講生選考料

【選考料】 5,000 円（証紙）

※立命館生協で証紙を購入し、提出してください。

※選考料は、聴講科目が複数学部にまたがる場合であっても 5,000 円です。

※学部と研究科にまたがって出願する場合は、両方の選考料が必要です。

※いったん納入された選考料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

【証紙販売場所（立命館生協）】

衣笠	至徳館購買部	営業時間は時期により異なります。 立命館生協ホームページでご確認ください。 http://www.ritsco-op.jp <input type="text" value="立命館生協"/> <input type="button" value="検索"/>
	存心館・ブックセンター「ふらっと」	
BKC	ユニオンスクエアショップ	
	リンクスクエアショップ	
朱雀	立命館生協朱雀店	
OIC	OIC Shop	

6. 出願上の注意

- (1) 聴講を申請する科目が複数学部にまたがる場合は、当該の学部事務室（OIC は学びステーション）と相談のうえ、出願書類を提出してください。
- (2) いったん聴講を許可された科目の取消はできません。ただし、春学期の出願時に許可された秋学期科目については、取消を認めることがあります。

Ⅲ. 選考および判定結果の通知

1. 選考方法

書類選考に加え、面接を行う場合があります。

2. 判定結果の通知

春学期の判定結果の通知

判定日 3月30日（金）

※判定後「許可通知」または「不許可通知」を送付します。

※春学期の授業開始日は4月6日（金）です。

秋学期の判定結果の通知

8月27日～8月29日出願分の判定日 8月29日（水）の週

9月6日、7日、10日出願分の判定日 9月11日（火）

※判定後「許可通知」または「不許可通知」を送付します。

※秋学期の授業開始日は9月26日（水）です。

Ⅳ. 登録手続

下記の納入手続締切日までに聴講料を全額納入してください。期日までに手続が完了しない場合は、許可を取り消します。

1. 聴講料

【聴講料】（1単位につき）

法・経済・経営・産業社会・国際関係・政策科学・文・スポーツ健康科学・総合心理の各学部の科目ならびに映像・理工・情報理工・生命科学の専門科目以外の科目	映像・理工・情報理工・生命科学の各学部の専門科目（※）
12,700円	18,800円

※映像学部・理工学部・情報理工学部・生命科学部の専門科目には、映像学部の専門基礎科目、理工学部の基礎専門科目および各学科の専門科目、生命科学部の専門基礎科目、共通専門科目ならびに情報理工学部の基礎専門科目（専門基礎科目）、共通専門科目、固有専門科目（学科専門科目）を含みます。

2. 納入手続締切日

春学期に許可を受けた場合の納入手続締切日 4月13日（金）

秋学期に許可を受けた場合の納入手続締切日

- ・8月27日～8月29日出願分 許可通知書で確認してください（許可判定日から2週間以内）
- ・9月6日、7日、10日出願分 9月25日（火）

3. 聴講料の納入に関わる留意事項

聴講料の納入にあたっては、分割納入はできませんので、あらかじめ所定の金額をご用意いただき、許可通知に同封してある振込用紙を使って納入してください。一度納入された聴講料は返還しません。ただし、秋学期科目の取消を行う場合については、聴講料を返還します（春学期科目・夏集中科目の取消の場合は返還しません）。

Ⅴ. 秋学期科目の登録追加および取消

すでに春学期の時点で聴講生の許可を受けている方で、秋学期科目の登録追加および取消をおこなう場合は、「秋学期授業科目追加および取消申請書」を学部事務室（OICは学びステーション）で受領のうえ、提出し下記の期間内に手続きを行ってください。秋学期科目の追加は、春学期に聴講した科目（春学期に聴講し不合格になった科目も含む）と合わせて18単位を超えない範囲で手続きしてください。

1. 秋学期科目を追加する場合

春学期出願時の登録単位数より単位数が増加しますので、聴講料の納入が必要です。

2. 秋学期科目の取消の場合

春学期出願時の登録単位数より単位数が減少しますので、納入された聴講料を返還します。

3. 秋学期科目の追加と取消の両方を行う場合

秋学期科目の追加と取消の両方を行い、春学期出願時の登録単位数より単位数が増加する場合は聴講料の納入が必要となり、春学期出願時の登録単位数より単位数が減少する場合は納入された聴講料を返還し

ます。

また、秋学期科目の追加と取消により登録単位数に変更がない場合でも、1単位あたりの聴講料によって、聴講料の追加納入または返還が生じる場合があります。

例：春学期登録時に、法学部の科目を春学期2単位、秋学期2単位登録していた者が、法学部の秋学期2単位を取り消し、映像学部の専門科目2単位を新たに追加登録する場合

12,700円×4単位＝50,800円 → 12,700円×2単位＋18,800円×2単位＝63,000円

この場合、12,200円の追加納入が必要となります。

4. 手続き

- (1) 秋学期科目の追加および取消の申請期間：9月6日(木)、7日(金)、10日(月) 13:00～17:00
- (2) 秋学期の判定結果の通知：9月11日(火)
- (3) 追加で聴講料の納入が必要な場合の納入手続締切日：9月25日(火)
- (4) 聴講料の返還について：「秋学期授業科目追加および取消申請書」の申請内容が認められ、聴講料の返還が生じる場合は、後日、本学財務経理課より「過納学費返金案内」を送付します。

※申請期間内に提出がなかった場合は、聴講料の返還はできません。

※秋学期科目を取り消すことにより、秋学期登録科目が無くなる場合は、聴講生証を返還してください。

Ⅵ. 目的に応じた聴講など

京(みやこ)カレッジへの提供科目を受講する場合

本学の科目のうち、一部の科目については大学コンソーシアム京都が開設している「京(みやこ)カレッジ」制度にも提供しています。京カレッジ制度を受講する場合、出願期間や手続方法等は、本要項とは異なりますので、詳細は「2018年 京カレッジ生募集ガイド」(大学コンソーシアム京都にて配布)や「大学コンソーシアム京都ホームページ」(<http://www.consortium.or.jp/>)を確認してください。選考は行いますが、選考料は必要ありません。履修が許可された場合は、本学への聴講料の納入が必要です。

※京(みやこ)カレッジとは

大学コンソーシアム京都が、社会人を対象とする生涯学習事業として、京都市と連携しながら高度な学習機会を提供している制度です。通常の「大学講義」に加えて、「市民教養講座」「キャリアアップ講座」「京都力養成コース」など多様な生涯学習のニーズに対応しています。

【大学コンソーシアム京都/京カレッジ担当】

住所：〒600-8216 京都市下京区西洞院塩小路下ル キャンパスプラザ京都内

電話：075-353-9140

Ⅶ. 聴講をはじめるとあって

1. 聴講生証の交付

選考の結果、許可となり指定期間内に所定の手続き(聴講料の納入を含む)の完了した者を本学の聴講生とし、「聴講生証」を交付します。

2. 試験および単位修得

聴講生は、許可された授業科目について試験を受験することができますが、当該聴講科目について単位の授与を受けることはできませんので、「成績証明書」は発行しません。ただし、希望者については成績通知表をお渡しします。

3. RAINBOW ユーザー ID 通知書の交付

情報教室やマルチメディアルームでパソコンを利用するためのユーザー ID とパスワードを交付します。申請の必要はありません。なお、前年度通年あるいは秋学期より引き続き聴講生として許可された場合は、ユーザー ID とパスワードは同じものをそのまま継続して使用できます（新規交付は行いません）。

4. 休講や補講などの授業情報

休講や補講などの授業情報は、manaba+R のコースニュースで確認してください。manaba+R にログインするには、立命館大学ホームページの「在学生の方」ページからアクセスしていただき、RAINBOW ユーザー ID とパスワードを入力してください。

5. 学内施設の利用

聴講生は、本学図書館、メディアライブラリーおよびメディアセンター、情報教室およびマルチメディアルームの利用ができます。

6. 証明書の交付

聴講生は必要により、「聴講生証明書」の交付を受けることができますが、通学定期券の購入等のための「通学証明書」および「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」の交付を受けることはできません。

7. 諸規則の遵守

聴講生は、本学の諸規則を守らなければなりません。聴講生が本学の諸規則に反する行為または聴講生として相応しくない行為を行った場合は、聴講生の身分を剥奪し、授業科目の聴講を中止します。

8. その他の留意事項

- (1) 聴講生は、単年度ごとの在籍となりますので、次年度も志望される場合はあらためて出願しなければなりません。年度ごとに選考料・聴講料が必要となります。
- (2) 本学では自動車通学を禁止しています。また、バイク・自転車通学をする場合は、登録手続きが必要ですので、各キャンパスの以下のところでお問い合わせください。
 - ① 朱雀キャンパス 中川会館1階 キャンパス管理室
 - ② 衣笠キャンパス 至徳館1階 キャンパスインフォメーション
 - ③ びわこ・くさつキャンパス コアステーション1階 キャンパス管理室
 - ④ 大阪いばらきキャンパス A棟1階 キャンパスインフォメーション※バイクは125cc以下に限定されます（OICのみ）。
- (3) 聴講生には、本学の課外活動への参加を認めていません。

体系的学習のための分野と主な科目

学部別に体系的学習のための分野を設定し、その主な科目を例示していますので履修の際の参考としてください。

なお、科目によっては開講されない場合があります。履修にあたっては、各学部事務室で確認してください。

〈衣笠キャンパス〉

学部	分野	分野の概要	主な科目
法学部	グローバル・ロー	基本的な国内法とともに外国法、国際法を学ぶことで、異なる法体系の存在を理解し、国際比較の中でわが国の法律の理解を深めます。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、英米法Ⅰ・Ⅱ、国際法総論Ⅰ・Ⅱ、国際私法Ⅰ・Ⅱ、国際政治論Ⅰ・Ⅱ、国際法各論Ⅰ・論Ⅱ、ヨーロッパ法、アジア法、国際経済法、国際人権法、国際取引法
	ビジネス・金融	民間企業一般もしくは銀行・保険・証券等、金融機関において必要とされる法律知識を習得し、応用可能な基本的能力を身につけることを目指します。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、司法過程論、会社法Ⅰα・Ⅰβ、会社法Ⅱ、商取引法、民法Ⅲ（物権法）、民法Ⅳ（債権総論）、民法Ⅴ（担保法）、経済法Ⅰ・Ⅱ、知的財産法、有価証券法、倒産処理法、保険法、民事執行・保全法
	生活・環境	日常の市民生活において発生する、環境や家族などの法的問題に対処する基本的能力を身につけることを目指します。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、司法過程論、環境法Ⅰ、環境法Ⅱ、行政法Ⅰ・Ⅱ、社会保障法、税法、民法Ⅵα（親族法）、民法Ⅵβ（相続法）、労働法、社会福祉法、消費者法
	自由・人権	国家・行政権力との間で発生する市民の人権に係る法的問題について理解を深めるとともに、この分野の法の専門的知識を習得することを目指します。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、国際法総論Ⅰ、行政法Ⅰ・Ⅱ、刑法Ⅱ（各論）、刑事訴訟法、犯罪学、労働法、国際人権法、少年法、地方自治法
	歴史・文化	現代の法律現象に対して歴史的・理論的観点から法に関する専門的理解を深めることを目指します。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、英米法Ⅰ・Ⅱ、西洋法史、日本法史、現代政治思想史、日本政治思想史、法社会学、ヨーロッパ法、アジア法、ジェンダーと法、法哲学
	政治・市民社会	市民社会の立場から、政府や国の活動、選挙や権力の問題を学び、また、これら選挙運動や権力の動向を報道するマスコミや、その政治への影響を学ぶことを通じて、政治学・行政学の専門的理解を深めることを目指します。	憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰα・Ⅰβ、民法Ⅱ（債権各論）、刑法Ⅰ（総論）、近代政治思想史、日本外交論、近代日本政治史、現代日本政治論、比較政治制度論、行政管理論、近代国際政治史、政治学原論Ⅰ・Ⅱ、西洋政治史、福祉政治、現代国際政治史、公共性論、政治意識論、政治コミュニケーション、政治文化論
産業社会学部	現代社会学科 現代社会専攻	国や自治体、企業、NGO・NPO、そして一人ひとりの市民の視点から、本当に豊かな社会を創造する方法を探究。社会形成、社会文化、環境社会の3領域から編成され、さまざまな課題に対して政治、経済、労働、人間、文化、環境といった多角的な視点から検証できる力を養成する。	労働社会学、現代労働論、企業社会学、社会階層論、比較政治論、現代経済論、日本経済論、国際社会政策論、国際産業論、社会文化論、現代文化論、社会思想、社会病理学、社会倫理学、自我論、臨床社会学、比較文化論、比較ジェンダー論、比較宗教論、アジア文化論、エスニシティ論、生命倫理学、環境経済学、資源エネルギー論、環境ライフスタイル論、環境教育論、国際環境政策論、住民自治論、参加のデザイン論、環境形成論、NPO・NGO論、景観デザイン論、等

学部	分野	分野の概要	主な科目	
産業社会学部	現代社会学科	メディア社会専攻	メディアの問題点や機能、歴史的・社会的発展の経緯、社会のメディアの関わりについて学習し、メディアが伝える情報を的確に分析できる力や、自らメディアを使って情報発信できるスキルの養成に注力する。	メディア倫理、パブリックアクセス論、コミュニティメディア論、音声メディア論、国際ジャーナリズム論、ニュース論、メディアリテラシー論、子どもとメディア、グローバルメディア論、コミュニケーション政策論、活字メディア論、スポーツ変動論、スポーツメディア論、表象文化論、広告文化論、観光文化論、映像表現論、映画と社会、等
		スポーツ社会専攻	これからの市民社会を語る上で欠かせないキーワードとして「スポーツ」を取り上げ、公的機関、企業、またボランティアといった立場からスポーツと社会との関わりについて考察を深める。スポーツの振興を通して豊かな社会の実現に貢献できる能力の養成をめざす。	スポーツ社会学、スポーツ規範論、スポーツ人類学、スポーツ史、比較スポーツ論、身体表現論、武道論、スポーツ批評論、スポーツ変動論、グローバルスポーツ論、スポーツとジェンダー、子どもとスポーツ、スポーツマネジメント論、ヘルスマネジメント論、地域スポーツ論、スポーツ指導論、スポーツ政策論、スポーツ行政論、スポーツ法学、スポーツ産業論、スポーツメディア論、スポーツボランティア論、スポーツクラブ論、障害者とスポーツ、等
		子ども社会専攻	「子どもと社会」「子どもの社会」について、教育学や心理学といった特定の学問の視点に限定されることなく、社会学をはじめとする諸科学の成果を幅広く用いながら多角的に考察を進める。	国際教育援助論、比較市民教育論、メディアリテラシー論、子どもとメディア、生命倫理学、家族社会学、自我論、子どもと遊び、子どもとスポーツ、身体表現論、学校文化・学校空間論、スクールソーシャルワーク論、学校保健、ジェンダーと教育、いのちの教育、家族関係論、等
		人間福祉専攻	老人、子ども、障害者を対象とした福祉制度をはじめ、これからの福祉ビジネスや地域福祉のあり方など、福祉を政治・経済・文化・社会といった側面から考察する。また、対人ケアについても理解を深められるよう、カウンセリングやリハビリテーションの理論を学べる科目も設置。	臨床社会学、司法福祉論、医療福祉論、福祉発達史、社会福祉法制、福祉労働論、国際保健医療政策研究、障害者教育・福祉論、NPO・NGO論、福祉行財政論、福祉経営論、国際福祉社会学論、心理臨床論、家族関係論、発達障害論、障害者とスポーツ、心理検査法、人間発達論、発達保障論、スクールソーシャルワーク論、福祉計画論、バリアフリー論、リハビリテーション論、等
国際関係学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際秩序平和 Governance and Peace Program ・ 国際協力開発 Development and Sustainability Program ・ 国際文化理解 Culture and Society Program 	<p>【国際秩序平和】 国際政治、国際法などの分野を総合して平和と国際秩序について学びます。</p> <p>【国際協力開発】 地球のあらゆる地域におけるバランスのとれた発展という観点から望ましい国際協力や開発の方向を学際的・体系的・実践的に探究します。</p> <p>【国際文化理解】 国際社会の政治・経済構造と文明・文化の関係、共生を妨げる文化的要因、異文化理解の方法などを学びます。</p>	憲法Ⅰ～Ⅲ、国際法Ⅰ～Ⅳ、現代政治論、途上国政治論、欧米政治史Ⅰ・Ⅱ、国際関係史、比較政治論、国際機構論、マクロ経済学、ミクロ経済学、社会開発論、環境経済論Ⅰ・Ⅱ、日本経済論、国際金融論、国際貿易投資論、開発経済論、開発と食料、国際協力論、比較文化論、日本文化・社会論、民族文化誌、ジェンダー論、文化交流史、比較家族論、日欧文化関係史、東アジア文化関係史、社会言語学、現代思想論、国際ジャーナリズム論、国際情報論、地域統合・協力論、東アジア研究Ⅰ・Ⅱ、東南アジア研究Ⅰ、南アジア研究Ⅰ・Ⅱ、ロシア・ユーラシア研究Ⅰ・Ⅱ、北アメリカ研究Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ研究Ⅰ・Ⅱ、ラテンアメリカ研究Ⅰ・Ⅱ、中東研究Ⅰ・Ⅱ、アフリカ研究Ⅰ・Ⅱ、等	

学部	分野	分野の概要	主な科目
文学部	哲学・倫理学	「人間」を通して、存在、価値、美、自己、他者、社会、自然、生死、倫理などの事象を探究します。	哲学概論Ⅲ・Ⅳ、哲学史Ⅰ～Ⅵ、倫理思想史Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ現代思想Ⅰ・Ⅱ、等
	教育人間学	人間形成、臨床教育、心、意識、身体、病理、癒し、心理健康などの事象を通して、「人間」を総合的に探究します。	教育人間学概論Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ、文化の人間学、意識の人間学、自己の人間学、変容の人間学、超越の人間学、教育臨床の人間学、等
	日本文学	古代から近現代にかけて、主として日本で創作された文学作品について多方面からの分析・検討を行います。	日本文学概論Ⅲ・Ⅳ、日本文学の光と陰Ⅰ・Ⅱ、日本文学の伝統と現代Ⅰ・Ⅱ、等
	日本文化情報学	日本語を語学的研究対象として通時的・共時的な視点から考察を試み、その背景にある人間の文化や交流展開のありようを学びます。	日本語学概論Ⅱ、日本文化概論Ⅱ、日本文化の周辺Ⅰ・Ⅱ、日本語表現研究Ⅰ～Ⅳ、日本語音声学、等
	日本史学	古代から近現代までの日本の歴史を政治・社会・文化・対外関係などの諸分野にわたって幅広く学習します。	日本史学総説Ⅰ～Ⅵ、日本史学の視点Ⅰ～Ⅵ、等
	考古学・文化遺産	人類の残した遺跡や遺物から歴史を復原する考古学を学ぶと同時に、遺跡や遺物を中心とする文化遺産の保存と活用について学びます。	考古学・文化遺産総説Ⅰ～Ⅲ、世界の考古学・文化遺産、考古科学、文化遺産の保護と活用、等
	中国文学・思想	遙か古代から綿々と続く中国文学・思想の豊かな世界に広がる問題を研究し、そこに表された人の心を学びます。	中国文学史Ⅰ・Ⅱ、アジアの文学、中国文学・思想特殊講義、等
	東洋史学	中国を中心とする東アジアの歴史や文化を、広範な時代や地域を視野にいれながら学習します。	東洋史学史、東洋史特殊講義、等
	現代東アジア言語・文化	中国・朝鮮半島の現代文化を対象に、東アジアの共通性と多様性を学びます。	東アジア現代文化論Ⅰ・Ⅱ、東アジア現代史論Ⅰ・Ⅱ、現代東アジア言語・文化特殊講義、等
	英米文学	英米を中心とする英語圏の文学作品の研究を通して、英語の言語表現の特性、作品世界を構築する文化的・歴史的背景、そして人間と社会の関係のあり方について理解を深めます。	英米文学概論Ⅱ、英文学史Ⅰ・Ⅱ、米文学史Ⅰ・Ⅱ、英米文学特殊講義、等
	西洋史学	現代世界が歴史的にいかにして形成されたのかを、幅広い視野から学びます。	西洋史概論Ⅲ・Ⅳ、西洋古代史研究、西洋中世史研究、西洋近代史研究、西洋現代史研究、等
	文化芸術	物語、宗教信仰・ファッションといった人間の営みにおける象徴、音楽・絵画・建築といった芸術による表象など、多様な文化を学びます。	日本・東洋美術史、西洋美術史、現代美術論、民族と芸術、仏教と美術、表象とメディア、等
	地理学	過去から未来におよぶ地表上の自然・人文諸現象を分析し考察します。	環境地理学、歴史地理学、村落地理学、都市地理学、経済地理学、等
	地域観光学	「地域」に焦点を合わせながら、観光という現象をめぐる分析・考察の方法を学びます。	地域観光学概論Ⅱ、ツーリズム地域論Ⅰ・Ⅱ、等
	京都学	「京都」を主たる対象として歴史学・文学・地理学のアプローチを展開しながら、総合的・複合的な地域研究を行います。	京都文化論Ⅰ、京都地域論Ⅰ・Ⅱ、京都学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ、等
	言語コミュニケーション	ことばとコミュニケーションの実践を通し、人とことば、社会についての深い洞察と理解を養います。	コミュニケーション論、異文化間コミュニケーション、応用言語学、日本語文法論、等
国際コミュニケーション	世界の英語圏地域を中心に広く学び、文化や民族の摩擦と共存、多元文化環境での集団と個人、グローバル環境での表現と言語について学習します。	日米日欧関係史、現代の国際社会、国際移動論、国際環境論、英語圏社会論、等	
心理学	心理学の幅広い領域を対象にして、人間や動物の心と行動を科学的に理解するための知識と方法を学びます。	心理病理学（精神医学）、環境心理学、児童・青年心理学、社会心理学、生涯発達心理学、等	

学部	分野	分野の概要	主な科目
映像学部	映像	アート、テクノロジー、そしてビジネスの3つの側面から、映像を総合的にプロデュースする力の養成を目指します。	企画シナリオ創作論、写真学概論、日本文化と国際交流、文芸（物語）理論、映像作品研究Ⅰ・Ⅱ、インタラクティブ・デザイン論、映画史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、等

〈びわこ・くさつキャンパス〉

学部	分野	分野の概要	主な科目
経済学部	経済戦略	経済学の応用理論や経済政策を学び、経済分析の手法に習熟することにより、企業や行政機関において必要な戦略・政策を企画・実行する能力の育成をめざします。	経済戦略論Ⅰ・Ⅱ、公共経済学、組織と制度の経済学、金融政策論、地方財政論、環境経済学Ⅰ、数理経済学Ⅰ・Ⅱ、産業組織論、ゲーム理論、地域経済論、企業と雇用システム、情報経済論、オープンマクロ経済学、マクロエコノミック・ダイナミクス、等
	ヒューマン・エコノミー	福祉、雇用、年金、医療、環境、地域など生活に関わりの深いテーマを取り上げて、これらの諸問題を総合的な視点から解明・解決するための知識と方法の修得をめざします。	ヒューマン・エコノミー論Ⅰ・Ⅱ、生活経済論、福祉経済論、観光経済論、労働経済論、サービス経済論、食糧経済論、地域経済論、保険経済論、医療経済論、平和の経済学、文化経済学、環境経済学Ⅰ、地域福祉論、等
	金融経済	金融に関する理論、知識を学び、金融市場のデータ分析手法を身に付けることにより、広く金融に精通する能力の獲得をめざします。	財務諸表論、金融政策論、行動経済学、保険経済論、リスク管理論、フィナンシャルエコノミクス、金融法、企業税務論、オープンマクロ経済学、等
	環境・都市地域	経済学の基礎に理工学的な視点を加え、環境問題や都市・地域問題を考察することにより、企業や行政機関で環境・都市問題の解決策を提案できる能力の育成をめざします。	環境科学、環境経済学Ⅰ・Ⅱ、環境法、環境経済評価論、環境・開発論、環境経営論、食糧経済論、農業経済論、地方財政論、地域経済論、等
	国際経済	高度な外国語運用能力、幅広い国際経済の知識、国際経済学の素養を身につけ、国際経済問題の解決を提案できる能力の育成をめざします。	国際金融市場論、比較経済論、アメリカ経済論、アジア経済論、国際技術移転論、国際取引法、EU経済論、中国経済論、ロシア経済論、多国籍企業論、国際経済協力論、開発教育論、開発経済学、ODA・国際援助論、環境・開発論、国際経済機構論、途上国経済論、エリアスタディ特殊講義、等
スポーツ健康科学部	スポーツ科学	自然科学的な観点からスポーツを理解するとともに、その理論を実践へ活かすスキルを学びます。	スポーツサイバネティクス論、スポーツ医工学、エクササイズプログラミング論、スポーツバイオメカニクス論、スポーツ生理学、スポーツ生化学、等
	健康運動科学	健康の維持・増進のために、運動がどのような役割を果たすかを理解し、健康にかかわる具体的なプログラムについて学びます。	生活習慣病論、運動処方論、健康増進科学、運動生理学、健康運動指導論、健康施策論、等
	スポーツ教育学	保健体育教員、競技スポーツや健康教育の指導者にかかわる指導スキルを学びます。	スポーツ栄養教育学、スポーツカウンセリング論、スポーツ指導論、スポーツ教育学、アダプテッドスポーツ論、学校保健学、等
	スポーツマネジメント	スポーツ関連組織の運営を効率的に行う方法について学びます。	スポーツビジネス論、スポーツマーケティング論、スポーツメディア論、スポーツ政策論、組織マネジメント論、サービスマネジメント論、等

※理工学部、情報理工学部、生命科学部の開講科目については、各学部事務室へ問い合わせてください。

〈大阪いばらきキャンパス〉

学部	分野	分野の概要	主な科目
経営学 部	国際経営	外国語でビジネスを理解するための高度な外国語運用能力と国際理解力、経営学の専門知識を修得。グローバル化がますます進展するこれからの社会において、国際ビジネスを自ら生み出す力を磨きます。	国際経営論、近代アジア経済史、アジアの産業と市場、異文化マネジメント論、多国籍企業論、企業文化論、日中ビジネス論、国際マーケティング論、アジア経営論、国際経営戦略論、Cross-Cultural Management Research、International Accounting、International Corporate Culture、International Human Resource Management、International Industries、International Strategic Management、Strategic Marketing 等
	戦略とマーケティング	経営戦略とマーケティングを体系的に学修し、企業と外部環境とのかわりへの理解を深めます。近年、企業において重要視されてきているデザイン・マネジメントについて学ぶこともできます。	経営戦略論、戦略経営論、イノベーション戦略論、企業ネットワーク論、流通論、交通システム論、デザイン経営論、マーケティング・マネジメント、メディア・デザイン論、製品開発論、サービス・マーケティング論、広告論、消費者行動論、観光システム論 等
	組織とマネジメント	組織とマネジメントを体系的に学修し、心理学にもとづく分析やリーダーシップ論も交えながら、企業の内部組織と管理運営への理解を深めます。近年、社会において重要性を増してきているNPOなど非営利組織のマネジメントについて学ぶこともできます。	企業論、経営組織論、経営史、組織行動論、中小企業論、非営利組織論、比較企業論、企業倫理論、比較経営史、技術経営論、アントレプレナーシップ論、事業開発論、ベンチャー企業論、経営情報論、人的資源管理論、技術革新論、生産システム論、環境経営論、情報システム論、産業技術論、商法、会社法、労働法、税法 等
	会計とファイナンス	会計とファイナンスを体系的に学修し、企業における情報の役割や金融市場への理解を深めます。近年、注目されている国際会計基準の動きなどについて学ぶほか、経済学を用いた学びも行うことができます。	会計学、企業分析論、会計制度論、財務会計論、管理会計論、連結会計論、原価計算論、監査論、資金調達論、金融論、証券投資論、ベンチャーファイナンス、金融システム論、国際金融論、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、日本経済論、世界経済論 等
政策 科学 部	公共政策系	行政機関の活動は、住民や企業など広範囲に影響を及ぼすため、政策の立案・実施にはバランス感覚と広い視野が必要です。公共政策系では、公共政策が実現されるプロセスを理解するとともに、政治学や法学などさまざまな側面から実際の政策事例まで学びます。	グローバル・ガバナンス、政治過程論、政策過程論、政治文化論、情報社会論、公共哲学、国際機構論、情報技術マネジメント、行政法Ⅰ・Ⅱ、比較文化論、日本政治史、国際公共政策、現代政治理論、意思決定論、政治意識論、行政学Ⅰ・Ⅱ、地域政策論、Multi-level GovernanceⅠ～Ⅷ 等
	環境開発系	大量生産・大量廃棄の経済システム、地域格差など、さまざまな要因が絡む環境開発問題。公害など地域の問題から、貧困と紛争など地球レベルの課題まで、社会科学と自然科学の両面からアプローチを行い、持続可能な社会の実現に取り組みます。	資源エネルギー論、システム科学、住宅政策論、都市・環境法、都市計画、環境経済学、エコライフ政策、国際環境政策、都市景観論、開発経済論、環境経営論、環境社会学、まちづくり入門、戦略的環境アセスメント、サステナビリティ学入門、都市マネジメント論、Sustainable Urban PolicyⅠ～Ⅷ 等
	社会マネジメント系	経済政策の理論や経営戦略、高齢化社会における福祉課題やジェンダー問題など、多様な領域をカバーするカリキュラムを設定。ビジネスの最前線、NPOや行政機関など、政策の現場でリーダーとなる人材を育てます。	現代の福祉問題、企業組織論、地方財政論、非営利組織論、都市経済論、国際政治経済論、比較福祉社会学、経済政策、公共経済学、戦略経営論、戦略分析、財務分析、社会保障政策、地域経済論、消費者行動論、金融論、コミュニティ福祉論、組織ネットワーク論、パブリック・マネジメント論、福祉経済論、Regional Economy and DevelopmentⅠ～Ⅷ 等

学部	分野	分野の概要	主な科目
総合心理学部	認知・行動	人の心のはたらきと行動の仕組みを、実験的方法を用いて科学的に探求し、人間そのものの理解を深めます。 例えば、人間がどのように環境を認識し、情報を記憶して判断を行ったり思考したりするのかなどについて学びます。	認知心理学概論（知覚・認知心理学）、行動分析学、生理心理学、思考心理学、認知科学、知覚心理学、学習・記憶心理学、応用行動分析学、認知情報論、応用認知心理学、障がい児（者）心理学、色彩論、認知・行動特殊講義、認知行動療法論
	発達・支援	乳幼児期から高齢期までの人間の発達について、生物的次元から社会・文化的次元にわたる様々な知識を獲得し、発達のメカニズムを学びます。 例えば、生涯にわたる発達の多次元性、可塑性、発達経路の多様性、獲得と喪失をめぐる問題などを学びます。	発達心理学概論（発達心理学）、乳幼児心理学、青年心理学、教育実践心理学、児童心理学、中高年心理学、進化心理学、発達臨床心理学、言語発達論、ジェンダー心理学、家族療法論、キャリア形成論、発達・支援特殊講義、学校カウンセリング論
	社会・共生	自己と他者との関係、身近な地域やグローバル化する社会で発生する問題や紛争とその解決について、心のはたらきと行動の仕組みを探究する立場から理解します。 例えば、複雑化する社会における問題を心理学の立場から解明し、視点の対立、利害の対立から生じる紛争や対立を共生へと転換する方法などを学びます。	社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）、実験社会心理学、コミュニティ心理学、臨床社会心理学、メディア心理学、法心理学、衣食美心理学、パーソナリティ心理学、文化心理学、健康心理学、ナラティブ療法論、コミュニケーション心理学、社会・共生特殊講義、芸術療法論
	総合人間理解	人間についての様々な見方や多様な研究を学習することによって、心理学以外の人間観を理解し、総合的に人間を理解する力を養います。 また、心理学的知見を人文・社会科学など他の分野の知見と関係づけて、現代の人間をめぐる様々な課題の解決のために総合的な視点でアプローチする力を養います。	現代人間論、人間観の探求、政治と人間、経済と人間、家族と人間、組織と人間、現代家族論、組織行動論、総合人間理解特殊講義、行動経済論
	共通専門	心理学の基礎的な知識、研究方法、技能などを身に付ける科目群です。心理学の様々な分野において必要となる基礎的事項を学びます。	心理学史、臨床心理学概論、心理調査法概論、心理学研究法Ⅰ、心理学研究法Ⅱ、心理学研究法Ⅲ、医学総論、心理学のための生理学

大学院 聴講生制度について

立命館大学では、社会人、市民のみなさんの学問的・実学的興味関心にこたえるものとして、聴講生制度（聴講生として授業を履修する制度）を設けています。聴講を志望される方は、以下の諸点にご留意のうえ、所定の手続きを行ってください。

本学の聴講制度は、履修した授業科目の単位授与は行いません。単位修得を志望される方は、科目等履修生制度を設けていますので「科目等履修生出願手続要項」をご覧ください。

I. 聴講生制度の概要

1. 2018年度に聴講生の受入を行う研究科

衣笠キャンパス	法学研究科、先端総合学術研究科（※1）、文学研究科（※2）
びわこ・くさつキャンパス（BKC）	スポーツ健康科学研究科
朱雀キャンパス	公務研究科（※3）、法務研究科
大阪いばらきキャンパス（OIC）	政策科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科（※4）、経営管理研究科（※5）、人間科学研究科

※1 先端総合学術研究科で聴講できる科目は、1・2年次配当科目のみとなります。

※2 文学研究科については、対象は学校法人立命館附属校の現役教員のみです。対象科目については文学部事務室へお問い合わせください。

※3 公務研究科への出願を希望される方は、事前に朱雀独立研究科事務室までご相談ください。

※4 テクノロジー・マネジメント研究科の一部の科目は「立命館大阪梅田キャンパス」で開講しています。詳細は当該研究科の事務室にお問い合わせください。

※5 経営管理研究科については、独自の聴講生出願要項がありますので、そちらをご覧ください。

2. 聴講科目

(1) 聴講科目

本学で開講している科目の中から、興味関心に応じて授業科目を聴講できます。ただし、外国語、演習、研究入門、講読、実験、実習等定員の定められている科目等は聴講できません。

聴講できる授業科目については、事前に聴講しようとする研究科の事務室に照会してください。

(2) シラバス（講義概要）および時間割

聴講生が履修できる科目のみのシラバスおよび時間割はありませんので、3月中旬の時間割が確定する時期以降に聴講を志望する研究科の事務室にて、開講予定科目を確認してください。なお、シラバスは、立命館大学のホームページで3月9日（金）10：00から確認できます。

〔立命館大学シラバス〕

〔立命館大学ホームページ→在学生の方→シラバス→学外向け〕

3. 聴講できる単位数

当該年度に聴講できる単位数は、12単位（複数研究科にまたがって聴講する場合も含む）が上限です。

4. 授業時間

第1限	第2限	第3限	第4限	第5限	第6限	第7限
9：00～10：30	10：40～12：10	13：00～14：30	14：40～16：10	16：20～17：50	18：00～19：30	19：40～21：10

Ⅱ. 出願手続

1. 出願資格

大学院修士課程、大学院博士課程前期課程、大学院一貫制博士課程1年次および2年次または大学院専門職学位課程の授業科目の聴講を志望することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 本学大学院学則第52条に規定する大学院の入学資格を有する者
- (2) 聴講に必要な学力があると研究科長が認めた者
ただし、法務研究科の授業科目の聴講を志望することができる者は、上記(1)または(2)のほか、法律を扱う職業に従事した経歴を有することとする。

大学院学則第52条

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者と同等以上の学力を有する者として、学校教育法施行規則第155条第1項に規定された者
- (3) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、各研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

※日本国籍を有しない方は、履修する期間に相当する日本国の在留資格を有することが必要です。なお、在留資格が「留学」の場合は、履修時間数の要件がありますので、詳しくは各キャンパスの国際教育センターで確認してください。

※他の大学、短大ならびに大学院に在籍しながら（通信教育を含む）履修を志望する方は、所属する大学（短大・大学院）の許可書を提出してください（自由書式）。

2. 出願受付場所

各研究科事務室・独立研究科事務室

※ただし、政策科学研究科、人間科学研究科への出願はOIC学びステーションで受け付けます。

※なお、法学研究科への出願は、春学期のみ、衣笠学びステーションで受け付けます。

3. 出願受付期間

春学期 3月20日（火）～3月23日（金） 13:00～17:00

秋学期 ・秋学期に2018年度はじめて出願する場合

8月27日（月）～8月29日（水） 13:00～17:00

・本学を当該年度に春学期卒業して秋学期にはじめて出願する場合または春学期より引き続き履修する場合で秋学期科目を追加・取消する場合

9月6日（木）、7日（金）、10日（月） 13:00～17:00

4. 出願書類

(1) 聴講願および聴講受講科目申請票（本要項の裏表紙のもの）1枚

(2) 最終学歴の卒業・修了証明書 1枚

【大学院修士課程、大学院博士課程前期課程、大学院一貫制博士課程1・2年次または大学院専門職学位課程の授業科目の履修を志願する場合】

・大学卒業証明書（飛び級で大学院に入学して修了した者は大学院修了証明書）

・大学院学則第52条に規定する大学院の入学資格を有しない者は、聴講に必要な学力を有していることがわかるもの（事前に履修を志願する研究科事務室へご相談ください）

(3) 学生証写真貼付用紙（本要項に同封のもの）1枚

「Ⅰ. 学生情報」に、上記(1)「聴講願および聴講受講科目申請票」に記載した研究科名（複数の研究科にまたがって申請する場合でも、1つの研究科名）を記入してください。また、生年月日、氏名、アルファベット表記（日本国籍を有しない方のうち特別永住者でない方のみ）を記入してください。

- (4) 個人情報の取扱いに関する同意書（本要項に綴じ込みのもの） 1枚
立命館大学では、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守するために、「学校法人立命館個人情報保護基本方針」を定め、個人情報の適切な管理運用を行っています。後掲の「立命館大学における個人情報の取扱いについて」を熟読のうえ、必要事項を記入してください。
- (5) 日本国籍を有しない方は、履修の期間に相当する日本国の在留資格を有することを証明する在留カード、特別永住者証明書のいずれかの写し
- (6) 他の大学、短大ならびに大学院に在籍しながら（通信教育を含む）履修を志望する場合は、所属する大学（短大・大学院）の許可書（自由書式）
- ※ (1)「聴講願」と(3)「学生証写真貼付用紙」に貼付する写真は、最近3ヶ月以内に撮影したカラー顔写真〈タテ3cm×ヨコ2.4cm〉にしてください。

5. 聴講生選考料

【選考料】5,000円（証紙）

※立命館生協または証明書自動発行機で証紙を購入し、提出してください。

※選考料は、聴講科目が複数研究科にまたがる場合であっても5,000円です。

※学部と研究科にまたがって出願する場合は、両方の選考料が必要です。

※いったん納入された選考料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

【証紙販売場所（立命館生協）】

衣笠	至徳館購買部	営業時間は時期により異なります。 立命館生協ホームページでご確認ください。 http://www.ritsco-op.jp <input type="button" value="立命館生協"/> <input type="button" value="検索"/>
	存心館・ブックセンター「ふらっと」	
BKC	ユニオンスクエアショップ	
	リンクスクエアショップ	
朱雀	立命館生協朱雀店	
OIC	OIC Shop	

6. 出願上の注意

- (1) 聴講を申請する科目が複数の研究科にまたがる場合は、当該の研究科の事務室と相談のうえ、指定された研究科の事務室に出願書類を提出してください。
- (2) いったん聴講を許可された授業科目の取消はできません。ただし、春学期の出願時に許可された秋学期科目については、取消を認めることがあります。

Ⅲ. 選考および判定結果の通知

1. 選考方法

書類選考に加え、面接を行う場合があります。

（なお、法務研究科では論文試験を行う場合があります）

2. 判定結果の通知

- (1) 春学期の判定結果の通知

判定日 3月30日（金）

※判定後「許可通知」または「不許可通知」を送付します。

※春学期の授業開始日は4月6日（金）です。

ただし、以下の研究科は開始日が異なります。

テクノロジー・マネジメント研究科、法務研究科：4月5日（木）

(2) 秋学期の判定結果の通知

8月27日(月)～8月29日(水) 出願分の判定日 8月29日(水)の週

9月6日(木)、7日(金)、10日(月) 出願分の判定日 9月11日(火)

※判定後「許可通知」または「不許可通知」を送付します。

※秋学期の授業開始日は9月26日(水)です。

IV. 登録手続

下記の納入手続締切日までに聴講料を全額納入してください。期日までに手続が完了しない場合は、許可を取り消します。

1. 聴講料

【聴講料】(1単位につき)

法学・政策科学・先端総合学術・法務・スポーツ健康科学・公務・人間科学・文学の各研究科の科目	テクノロジー・マネジメント研究科の科目
12,700円	18,800円

2. 納入手続締切日

春学期に許可を受けた場合の納入手続締切日 4月13日(金)

秋学期に許可を受けた場合の納入手続締切日

・8月27日(月)～8月29日(水) 出願分 許可通知書で確認してください
(許可判定日から2週間以内)

・9月6日(木)、7日(金)、10日(月) 出願分 9月25日(火)

3. 聴講料の納入に関わる留意事項

聴講料の納入にあたっては、分割納入はできませんので、あらかじめ所定の金額をご用意いただき、許可通知に同封してある振込用紙を使って納入してください。一度納入された聴講料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、秋学期科目の取消を行う場合については、聴講料を返還します(所定の期間内に必要な手続きを完了した場合に限ります)。

V. 秋学期科目の登録追加および取消

すでに春学期の時点で聴講生の許可を受けている方で、秋学期科目の登録追加および取消を行う場合は、「秋学期授業科目追加および取消申請書」を研究科事務室で受領のうえ、下記の期間内に手続きを行ってください。秋学期科目の追加は、春学期に聴講した科目(春学期に聴講し不合格になった科目も含む)と合わせて12単位を超えない範囲で手続きしてください。

1. 秋学期科目を追加する場合

春学期出願時の登録単位数より単位数が増加しますので、聴講料の納入が必要です。

2. 秋学期科目の取消の場合

春学期出願時の登録単位数より単位数が減少しますので、納入された聴講料を返還します。

3. 秋学期科目の追加と取消の両方を行う場合

秋学期科目の追加と取消の両方を行い、春学期出願時の登録単位数より単位数が増加する場合は聴講料

の納入が必要となり、春学期出願時の登録単位数より単位数が減少する場合は納入された聴講料を返還します。

また、秋学期科目の追加と取消により登録単位数に変更がない場合でも、1単位あたりの聴講料によって、聴講料の追加納入または返還が生じる場合があります。

例：春学期登録時に、法学研究科の科目を春学期2単位、秋学期2単位登録していた者が、法学研究科の秋学期2単位を取り消し、テクノロジー・マネジメント研究科の科目2単位を新たに追加登録する場合

12,700円×4単位 = 50,800円 → 12,700円×2単位 + 18,800円×2単位 = 63,000円

この場合、12,200円の追加納入が必要となります。

4. 手続き

- (1) 秋学期科目の追加および取消の申請期間：9月6日（木）、7日（金）、10日（月） 13：00～17：00
- (2) 秋学期の判定結果の通知：9月11日（火）
- (3) 追加で聴講料の納入が必要な場合の納入手続締切日：9月25日（火）
- (4) 聴講料の返還について：「秋学期授業科目追加および取消申請書」の申請内容が認められ、聴講料の返還が生じる場合は、後日、本学財務経理課より「過納学費返金案内」を送付します。

※申請期間内に提出がなかった場合は、聴講料の返還はできません。

※秋学期科目を取り消すことにより、秋学期登録科目が無くなる場合は、聴講生証を返還してください。

VI. 聴講をはじめるとあたって

1. 聴講生証の交付

選考の結果、許可となり指定期間内に所定の手続き（聴講料の納入を含む）を完了した者を本学の聴講生とし、「聴講生証」を交付します。

2. 試験および単位修得

聴講生は、許可された授業科目について試験を受験することができますが、当該聴講科目について単位の授与を受けることはできませんので、「成績証明書」は発行しません。ただし、希望者については成績通知表をお渡しします。

3. RAINBOW ユーザー ID 通知書の交付

情報教室やマルチメディアルームでパソコンを利用するためのユーザー ID とパスワードを交付します。申請の必要はありません。なお、前年度通年あるいは秋学期より引き続き聴講生として許可された場合は、ユーザー ID とパスワードは同じものをそのまま継続して使用できます（新規交付は行いません）。

4. 休講や補講などの授業情報

休講や補講などの授業情報は、manaba+R のコースニュースで確認してください。manaba+R にログインするには、立命館大学ホームページの「在学生の方」ページからアクセスし、RAINBOW ユーザー ID とパスワードを入力してください。

5. 学内施設の利用

聴講生は、本学図書館、メディアライブラリーおよびメディアセンター、情報教室およびマルチメディアルームの利用ができます。

6. 証明書の交付

聴講生は必要により「聴講生証明書」の交付を受けることができますが、通学定期券の購入等のための「通学証明書」および「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」の交付を受けることはできません。

7. 諸規則の遵守

聴講生は、本学の諸規則を守らなければなりません。聴講生が本学の諸規則に反する行為または聴講生として相応しくない行為を行った場合は、聴講生の身分を剥奪し、授業科目の聴講を中止します。

8. その他の留意事項

- (1) 聴講生は、単年度ごとの在籍となりますので、次年度も志望する場合はあらためて出願しなければなりません。年度ごとに選考料・聴講料が必要となります。
- (2) 本学では自動車通学を禁止しています。また、バイク・自転車通学をする場合は、登録手続きが必要です。各キャンパスの以下のところでお問い合わせください。
 - ① 朱雀キャンパス 中川会館1階 キャンパス管理室
 - ② 衣笠キャンパス 至徳館1階 キャンパスインフォメーション
 - ③ びわこ・くさつキャンパス コアステーション1階 キャンパス管理室
 - ④ 大阪いばらきキャンパス A棟1階 キャンパスインフォメーション※バイクは125cc以下に限定されます（OICのみ）。
- (3) 聴講生には、本学の課外活動への参加を認めていません。

2018年度 立命館大学 学年暦 学部

月	日	曜	学部行事
4	1	日	春学期開始 オリエンテーション
	2	月	入学式（衣笠・BKC・OIC）
	3	火	オリエンテーション
	4	水	オリエンテーション
	5	木	オリエンテーション
	6	金	春セメスター授業開始
	21	土	統一補講日①
	30	月	昭和の日振替休日（授業日）
5	3	木	憲法記念日（休日）
	4	金	みどりの日（休日）
	5	土	こどもの日（休日）
	12	土	授業日（木曜日分）*1
6	19	土	本学創立記念日（統一補講日②）
	9	土	統一補講日③
7	30	土	統一補講日④
	16	月	海の日（授業日）
	20	金	春セメスター授業終了
	21	土	統一補講日⑤
	23	月	春セメスター定期試験開始
	24	火	レポート試験統一締切日
8	28	土	定期試験日
	1	水	春セメスター定期試験終了
	2	木	定期試験予備日・夏期休暇開始
	7	火	追試験日
	8	水	追試験日
	9	木	追試験予備日
	21	火	再試験（薬学部のみ）
	22	水	再試験（薬学部のみ）
	23	木	再試験（薬学部のみ）
9	24	金	再試験予備日（薬学部のみ）
	27	月	夏集中講義（第1週）開始
	1	土	夏集中講義（第1週）終了
	3	月	夏集中講義（第2週）開始
	6	木	卒業合否発表日
	8	土	夏集中講義（第2週）終了
	21	金	オリエンテーション
25	23	日	卒業式
			入学式
	火		夏期休暇終了 春学期終了

月	日	曜	学部行事
9	26	水	秋学期開始 秋セメスター授業開始
	8	月	体育の日（授業日）
10	20	土	統一補講日①
	27	土	授業日（月曜日分）*1
11	10	土	統一補講日②
	23	金	勤労感謝の日（授業日）
12	1	土	統一補講日③
	22	土	統一補講日④
	24	月	天皇誕生日振替休日（授業日）
1	26	水	冬期休暇開始
	6	日	冬期休暇終了
	7	月	秋セメスター授業再開
	14	月	成人の日（休日）
	18	金	秋セメスター授業終了
	21	月	統一補講日⑤
	22	火	秋セメスター定期試験開始・定期試験日 レポート試験統一締切日
	26	土	定期試験日
	30	水	秋セメスター定期試験終了
	31	木	定期試験予備日・春期休暇開始
	2	6	水
7		木	追試験日
8		金	追試験予備日
18		月	卒業合否発表日（薬学部のみ）
19		火	再試験（薬学部のみ）
20		水	再試験（薬学部のみ）
3	21	木	再試験（薬学部のみ）
	22	金	再試験予備日（薬学部のみ）
	6	水	卒業合否発表日
	20	水	卒業式（衣笠）
	21	木	卒業式（朱雀・OIC）／春分の日
31	22	金	卒業式（BKC）
	日		春期休暇終了 秋学期終了

（注）開講・試験期間外での祝休日については省略

* 1：月曜日、木曜日の授業日分について授業回数が不足するため、不足分授業日として土曜日に授業を実施します。

※休講（授業担当者の病気または避け難い理由等によるもの）した授業については、補講を行っていただきます。

ただし、補講授業では、補講の重複等で講義に出席できない場合に不利益を被らないためにも、補講授業での授業内テストや重要な発表・実習などの成績評価に強く影響する内容は実施しないでください。

※生命科学部・薬学部の一部授業においては、セメスターを半期に分け週1回の授業を実施します。

2018年度 立命館大学大学院 学年暦 セメスター制

(法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、社会学研究科、文学研究科、国際関係研究科、政策科学研究科、応用人間科学研究科、先端総合学術研究科、言語教育情報研究科、公務研究科、スポーツ健康科学研究科、映像研究科、教職研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、人間科学研究科)

月	日	曜	行 事
4	1	日	春学期開始 オリエンテーション
	2	月	入学式
	3	火	オリエンテーション
	4	水	オリエンテーション
	5	木	オリエンテーション
	6	金	春セメスター授業開始
	30	月	昭和の日振替休日(授業日)
5	3	木	憲法記念日(休日)
	4	金	みどりの日(休日)
	5	土	こどもの日(休日)
	19	土	本学創立記念日(授業日)
7	16	月	海の日(授業日)
	26	木	春セメスター授業終了
8	1	水	夏期休暇開始
	27	月	夏期集中講義(第1週)開始
9	1	土	夏期集中講義(第1週)終了
	3	月	夏期集中講義(第2週)開始
	6	木	修了合否発表日(修士・専門職)
	8	土	夏期集中講義(第2週)終了
	21	金	オリエンテーション
	23	日	学位授与式(修士・専門職)/秋分の日
	25	火	入学式
			夏期休暇終了
			春学期終了

月	日	曜	行 事
9	26	水	秋学期開始
			秋セメスター授業開始
10	6	土	学位授与式(課程博士)
	8	月	体育の日(授業日)
11	3	土	文化の日(授業日)
	23	金	勤労感謝の日(授業日)
12	24	月	天皇誕生日振替休日(授業日)
	26	水	冬期休暇開始
1	6	日	冬期休暇終了
	7	月	秋セメスター授業再開
	14	月	成人の日(休日)
	21	月	秋セメスター授業終了
2	1	金	春期休暇開始
	6	水	修了合否発表日(修士・専門職)
		20	水
	21	木	学位授与式(修士・専門職)朱雀・OIC/春分の日
	3	22	金
23		土	学位授与式(課程博士)・学位授与式(論文博士)
31	日	春期休暇終了	
		秋学期終了	

(注) 開講期間外での祝休日については省略

※補講等の予備日を以下のとおり設定します。

春セメスター予備日：7月22日(日)～7月25日(水)、7月27日(金)～7月31日(火)

秋セメスター予備日：1月22日(火)～1月31日(木)

※予備日および授業の開講されない土曜日・日曜日の取り扱いは研究科によって異なります。

詳細は、研究科からの案内をご確認ください。

2018年度 立命館大学大学院 学年暦 セメスター制
(理工学研究科、情報理工学研究科、生命科学研究科、薬学研究科)

月	日	曜	行 事
4	1	日	春学期開始 オリエンテーション
	2	月	入学式
	3	火	オリエンテーション
	4	水	オリエンテーション
	5	木	オリエンテーション
	6	金	春セメスター授業開始
	21	土	統一補講日①
	30	月	昭和の日振替休日(授業日)
5	3	木	憲法記念日(休日)
	4	金	みどりの日(休日)
	5	土	こどもの日(休日)
	12	土	授業日(木曜日分)
	19	土	本学創立記念日(統一補講日②)
6	9	土	統一補講日③
	30	土	統一補講日④
7	16	月	海の日(授業日)
	20	金	春セメスター授業終了
	21	土	統一補講日⑤
8	1	水	夏期休暇開始
	27	月	夏期集中講義(第1週)開始
9	1	土	夏期集中講義(第1週)終了
	3	月	夏期集中講義(第2週)開始
	6	木	修了合否発表日(修士)
	8	土	夏期集中講義(第2週)終了
	21	金	オリエンテーション
	23	日	学位授与式(修士)/秋分の日
	25	火	入学式
			夏期休暇終了
春学期終了			

月	日	曜	行 事
9	26	水	秋学期開始
			秋セメスター授業開始
10	6	土	学位授与式(課程博士)
	8	月	体育の日(授業日)
	20	土	統一補講日①
	27	土	授業日(月曜日分)
11	3	土	文化の日(休日)
	10	土	統一補講日②
	23	金	勤労感謝の日(授業日)
12	1	土	統一補講日③
	22	土	統一補講日④
	24	月	天皇誕生日振替休日(授業日)
	26	水	冬期休暇開始
1	6	日	冬期休暇終了
	7	月	秋セメスター授業再開
	14	月	成人の日(休日)
1	18	金	秋セメスター授業終了
	21	月	統一補講日⑤
2	1	金	春期休暇開始
3	6	水	修了合否発表日(修士)
	20	水	学位授与式(修士)衣笠
	21	木	学位授与式(修士)朱雀・OIC/春分の日
3	22	金	学位授与式(修士)BKC
	23	土	学位授与式(論文博士)・学位授与式(課程博士)
	31	日	春期休暇終了
			秋学期終了

(注) 開講期間外での祝休日については省略

※授業回数が不足する曜日の授業は、不足分授業日として土曜日に授業を実施します。

※予備日を以下のとおり設定します。

春セメスター予備日：7月23日(月)～7月28日(土)、7月30日(月)～7月31日(火)

秋セメスター予備日：1月19日(土)、1月22日(火)～1月26日(土)、1月28日(月)～1月31日(木)

※予備日の取り扱いの詳細は研究科からの案内をご確認ください。

2018年度 立命館大学大学院 学年暦 クォーター制

(テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科)

月	日	曜	行 事
4	1	日	春学期開始 オリエンテーション
	2	月	入学式
	3	火	オリエンテーション
	4	水	オリエンテーション
	5	木	春1クォーター授業開始
	30	月	昭和の日振替休日(授業日)
5	3	木	憲法記念日(休日)
	4	金	みどりの日(休日)
	5	土	こどもの日(休日)
	19	土	本学創立記念日(授業日)
6	2	土	春1クォーター授業終了
	5	火	春2クォーター授業開始
7	16	月	海の日(授業日)
	30	月	春2クォーター授業終了
8	3	金	夏期休暇開始
	27	月	夏期集中講義(第1週)開始
9	1	土	夏期集中講義(第1週)終了
	3	月	夏期集中講義(第2週)開始
	6	木	修了合否発表日(修士・専門職)
	8	土	夏期集中講義(第2週)終了
	21	金	オリエンテーション
	23	日	学位授与式(修士・専門職)/秋分の日
25	火	入学式	
		夏期休暇終了	
		春学期終了	

月	日	曜	行 事
9	26	水	秋学期開始
			秋1クォーター授業開始
10	6	土	学位授与式(課程博士)
	8	月	体育の日(授業日)
11	3	土	文化の日(授業日)
	20	火	秋1クォーター授業終了
	23	金	秋2クォーター授業開始 勤労感謝の日(授業日)
12	24	月	天皇誕生日振替休日(授業日)
	26	水	冬期休暇開始
1	6	日	冬期休暇終了
	7	月	秋2クォーター授業再開
	14	月	成人の日(授業日)
	31	木	秋2クォーター授業終了
2	1	金	春期休暇開始
3	6	水	修了合否発表日(修士・専門職)
	21	木	学位授与式(修士・専門職)朱雀・OIC/春分の日
3	23	土	学位授与式(課程博士)学位授与式(論文博士)
			春期休暇終了
31	日		秋学期終了

(注) 開講期間外での祝休日については省略

※補講等の予備日を以下のとおり設定します。

春1クォーター予備日: 6月3日(日)~6月4日(月)

春2クォーター予備日: 7月31日(火)~8月2日(木)

秋1クォーター予備日: 11月21日(水)~11月22日(木)

秋2クォーター予備日: 1月28日(月)~1月29日(火)

※予備日および授業の開講されない土曜日・日曜日の取り扱いは研究科によって異なります。

詳細は、研究科からの案内をご確認ください。

2018年度 立命館大学大学院 学年暦
(法務研究科)

月	日	曜	行 事
4	1	日	春学期開始 オリエンテーション
	2	月	入学式
	3	火	オリエンテーション
	4	水	オリエンテーション
	5	木	春semester授業開始
	30	月	昭和の日振替休日(授業日)
5	3	木	憲法記念日(休日)
	4	金	みどりの日(休日)
	5	土	こどもの日(休日)
	19	土	本学創立記念日(休日)
7	16	月	海の日(授業日)
	20	金	春semester授業終了
	26	木	春semester定期試験開始
	31	火	春semester定期試験終了
8	1	水	夏期休暇開始
	3	金	追試験日
	4	土	追試験日
9	6	木	修了合否発表日(専門職)
	23	日	学位授与式(専門職)/秋分の日
	25	火	夏期休暇終了 春学期終了

月	日	曜	行 事	
9	26	水	秋学期開始	
			秋semester授業開始	
10	8	月	体育の日(授業日)	
11	23	3	土	文化の日(休日)
		金	勤労感謝の日(授業日)	
12	26	24	月	天皇誕生日振替休日(授業日)
		水	冬期休暇開始	
1	18	6	日	冬期休暇終了
		7	月	秋semester授業再開
		14	月	成人の日(授業日)
		金	秋semester授業終了	
		24	木	秋semester定期試験開始
		29	火	秋semester定期試験終了
		30	水	春期休暇開始
2	2	1	金	追試験日
		土	追試験日	
3	21	6	水	修了合否発表日(専門職)
		木	学位授与式(専門職)朱雀・OIC/春分の日	
		31	日	春期休暇終了 秋学期終了

(注) 開講期間外での祝休日については省略

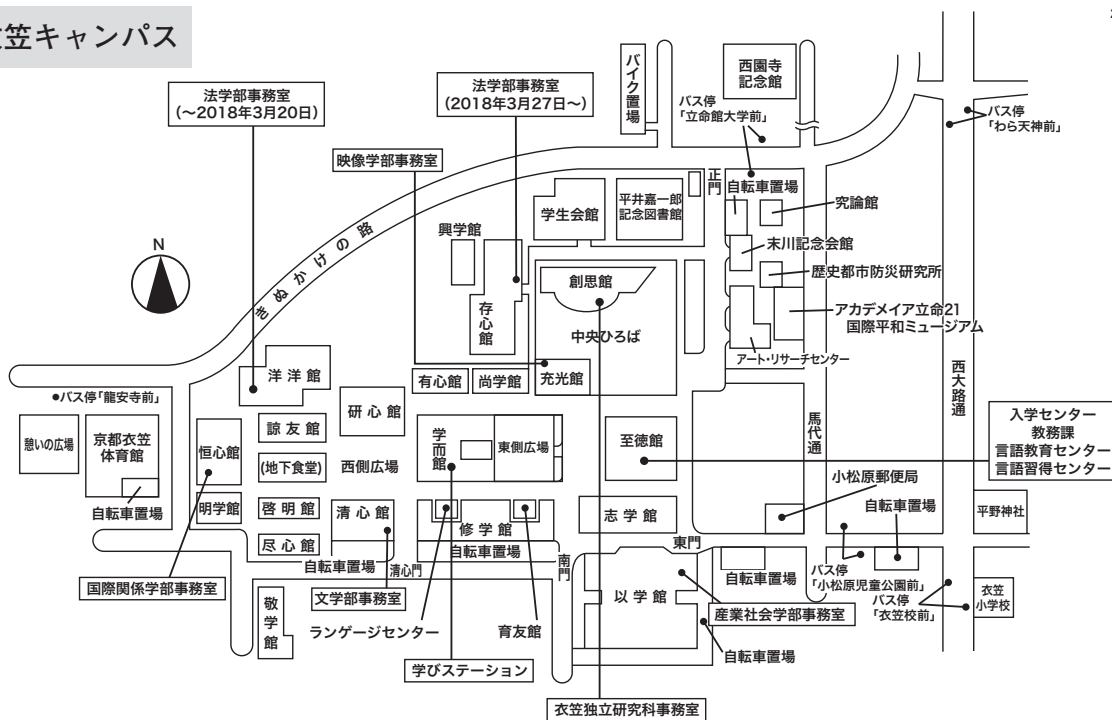
※「より豊かな学修」を促すための復習にあてる予備日を以下のとおり設定します。

春semester予備日：7月21日(土)、7月23日(月)～7月25日(水)

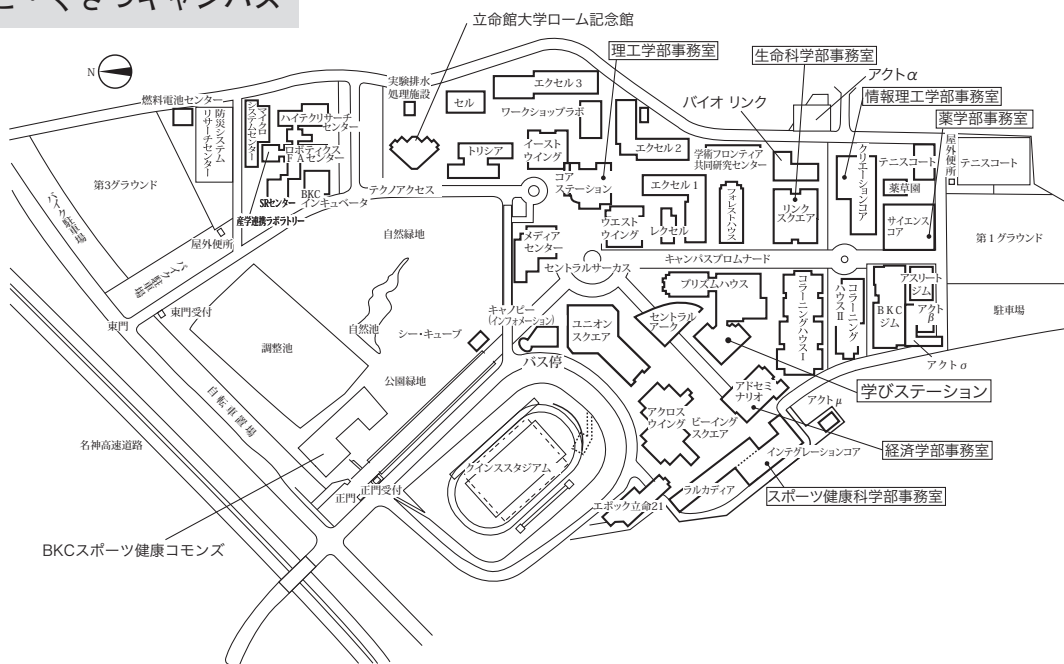
秋semester予備日：1月19日(土)、1月21日(月)～1月23日(水)

※予備日の取り扱いの詳細は、研究科からの案内をご確認ください。

衣笠キャンパス



びわこ・くさつキャンパス



立命館大学

衣笠キャンパス 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

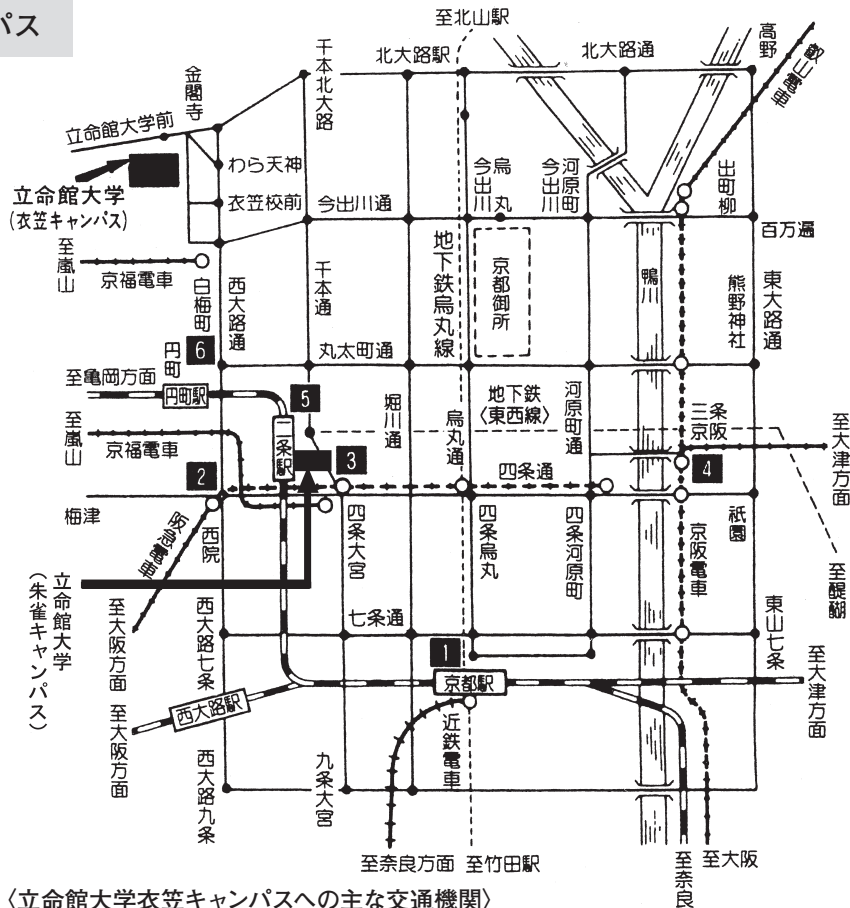
法学部事務室	075-465-8175	文学部事務室	075-465-8187
産業社会学部事務室	075-465-8184	映像学部事務室	075-465-1990
国際関係学部事務室	075-465-1211	衣笠独立研究科事務室	075-465-8375

(言語教育情報研究科・先端総合学術研究科)

びわこ・くさつキャンパス 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

経済学部事務室	077-561-3940	理工学部事務室	077-561-2625
スポーツ健康科学部事務室	077-561-3760	生命科学部事務室	077-561-5021
情報理工学部事務室	077-561-5202		

朱雀キャンパス



〈立命館大学衣笠キャンパスへの主な交通機関〉

- 1 京都駅烏丸中央口より (JR・近鉄)**
 - ・市バス 50 (B2 番のりば) 快速 205 (B3 番のりば) にて「立命館大学前 (終点)」下車。
 - ・市バス 205 (B3 番のりば) にて「衣笠校前」下車、徒歩約 10 分。
- 2 阪急電車西院駅より**
 - ・市バス 205 にて「衣笠校前」下車、徒歩約 10 分。
 - ・市バス快速 202・快速 205 にて「立命館大学前 (終点)」下車。
- 3 阪急電車大宮駅より**
 - ・市バス 55 にて「立命館大学前 (終点)」下車。
- 4 京阪電車三条駅より**
 - ・市バス 15 にて「立命館大学前 (終点)」下車。
 - ・市バス 59 にて「立命館大学前」下車。
- 5 JR 二条駅より**
 - ・市バス 15・55 にて「立命館大学前 (終点)」下車。
- 6 JR 円町駅より**
 - ・市バス 205 にて「衣笠校前」下車、徒歩約 10 分。
 - ・市バス快速 202・快速 205・15 にて「立命館大学前 (終点)」下車。

〈立命館朱雀キャンパスへの主な交通機関〉

- JR・地下鉄東西線二条駅、下車すぐ
- 京都市バス「千本三条・朱雀立命館前」下車
- JR バス「千本三条・朱雀立命館前」下車
- 阪急電車大宮駅、徒歩約 10 分

立命館大学

朱雀キャンパス 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1

朱雀独立研究科事務室

(法務研究科 075-813-8272)
 (公務研究科 075-813-8274)
 (教職研究科 075-813-8269)

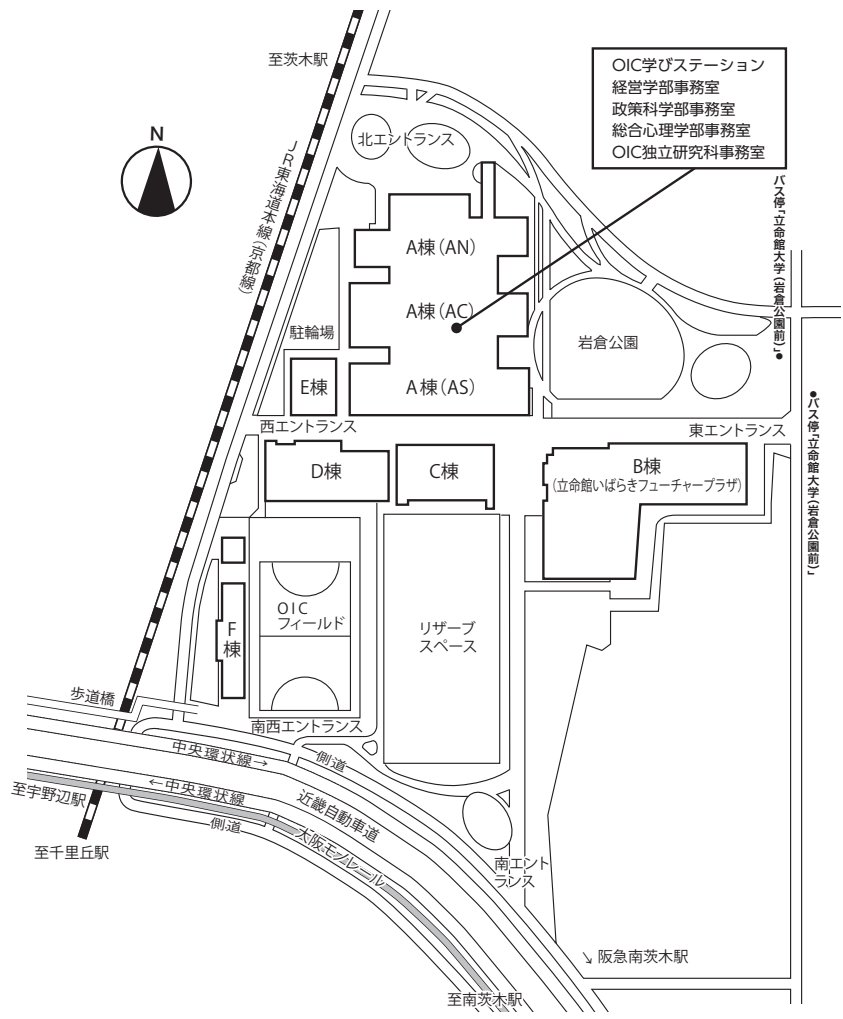
大阪いばらきキャンパス



大阪いばらきキャンパス(OIC)への交通機関

J R 京都駅	約12分	J R 高槻駅	約5分
J R 米原駅	約67分	J R 茨木駅	約5分
J R 大阪駅	約11分	J R 茨木駅	徒歩 約5分
J R 三ノ宮駅	約41分	J R 茨木駅	徒歩 約5分
J R 天王寺駅	約15分	J R 大阪駅	約11分
J R 奈良駅	約50分	J R 大阪駅	約11分
近鉄 大和西大寺駅	約23分	近鉄 鶴橋駅	約15分
阪急 梅田駅	約18分	阪急 十三駅	約11分
阪急 西宮北口駅	約9分	阪急 十三駅	約15分
大阪モノレール 門真市駅	約13分	大阪モノレール 宇野辺駅	徒歩 約7分
大阪モノレール 大阪空港駅	約21分	大阪モノレール 宇野辺駅	徒歩 約7分

立命館大学 大阪いばらきキャンパス(OIC)



立命館大学

大阪いばらきキャンパス 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

OIC 学びステーション 072-665-2050

(経営学部/研究科、政策科学部/研究科、総合心理学部/人間科学研究科)

OIC 独立研究科事務室

(テクノロジー・マネジメント研究科 072-665-2100)

個人情報保護基本方針

学校法人立命館（以下「本学園」）は、本学園が教育研究上使用する本学園の学生・生徒等の個人情報について、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守するために自主的なルールおよび体制を確立し、以下のとおり個人情報保護基本方針を定め、これを実行し維持します。なお、学術研究の用に供する目的で行う個人情報の取り扱いについては別に定めるものとします。

記

1. 本学園は、この基本方針を実行するために、「学校法人立命館個人情報保護規程」を定め、一般に公表するとともに、本学園教職員等（役員、教員、職員、パートタイマー、派遣労働者等を含む）および学園関係者に周知徹底させます。
2. 本学園は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため、不正アクセス対策、コンピュータウイルス対策など適切な情報セキュリティ対策を講じます。
3. 本学園は、個人情報の入手にあたり、適法かつ公正な手段によって行い、不正な方法により入手しないことはもちろん、個人情報の主体である本人から利用目的等について同意をとるか、本学園インターネットホームページに必要事項を告知します。
4. 本学園は、個人情報を間接的に入手する場合、入手する個人情報について、提供者が本人から適正に入手したものであるかどうかを確認し、本学園インターネットホームページに個人情報の利用目的等の必要事項を告知します。
5. 本学園は、個人情報の本人が自己個人情報について、開示、訂正、使用停止、消去等の権利を有していることを確認し、本人からのこれらの請求を尊重して対応します。
6. 本学園は、個人情報を第三者との間で共同利用したり、業務を委託するために個人情報を第三者に預託する場合は、当該第三者について調査し必要な契約を締結し、その他法令上必要な措置を講じます。
7. 個人情報については、本学園が設置する学校に現在在籍する学生・生徒および過去に在籍した学生・生徒に限らず、本学園が設置する学校の学生・生徒となる目的で本人から提供された個人情報についても同様に厳密に取り扱います。
8. 具体的な個人情報取得、取り扱いのため以下の原則を定めます。
 - 個人情報の利用は、取得目的の範囲内で、具体的に業務に応じ権限を与えられた者のみが、業務の遂行上必要な限りにおいて行うものとします。
 - 個人情報を第三者に提供することを原則として行いません。
 - 個人情報の目的外利用、通常の利用場所からの持ち出し、外部への送信等の個人情報の漏えい行為を行いません。
 - 本学園従事者が、業務上知り得た個人情報の内容をみだりに第三者に知らせ、または不当な目的に使用することを禁じます。その業務に係る職を退いた後も同様とします。
 - 次に示す内容を含む個人情報の取得、利用または提供を行いません。
 1. 思想、信条および宗教に関する事項
 2. 社会的差別の原因となる事項

2005年4月1日

立命館大学における個人情報の取扱いについて

立命館大学（以下「本学」といいます。）は、個人情報保護に関する法令および「学校法人立命館個人情報保護規程」を遵守し、本学が再入学予定者から取得する個人情報を以下のように取扱います。

〈利用目的〉

学生の個人情報は、以下の目的のために利用します。

- ・学籍管理、履修管理、成績管理、学費情報管理等、学生等の学修支援を行うため
- ・学生生活相談、課外活動支援、奨学金管理、保健衛生管理等、学生等の学生生活支援を行うため
- ・進路指導、就職活動支援、進路就職情報管理等、学生等の進路就職支援を行うため
- ・保護者への成績表送付等、保護者との履修、成績、進路相談を行うため
- ・入学試験業務、入学手続業務執行のため
- ・本学および学校法人立命館が設置する各校の各種案内物送付のため
- ・学内施設・設備の利用管理、保安管理のため
- ・各種証明書発行のため
- ・奨学事業を行う団体、卒業生等で組織する団体、学生等の父母で組織する団体等、学校法人立命館個人情報保護委員会で認められた団体に必要情報を提供するため
- ・出身高等学校への学修状況、学生生活状況等の情報提供を行うため
- ・大学評価（自己点検評価・第三者評価・認証評価等）、各種統計調査のため
- ・教育、研究、FD活動のため
- ・その他、本学の管理・運営に関する業務に必要な事項を処理するため

〈個人情報の管理〉

学生の個人情報は、法令および学校法人立命館個人情報保護規程に則り、漏洩・滅失・毀損等がないよう安全に管理します。

〈個人情報の提供を伴う業務委託〉

本学は、個人情報の取扱いを含む業務の一部を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

〈個人情報の第三者提供〉

本学は、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報を学校法人立命館以外の団体（以下「第三者」といいます。）に提供することはありません。

なお、個人情報保護に関する法律第23条2項にもとづき、利用目的の達成に必要な範囲で本学が承認し、かつ本学ホームページ等を通じてその内容を公開した場合、個人情報を第三者に提供することがあります。ただし、第三者提供の停止手続をとった場合は提供しません。第三者提供先への個人情報のデータ提供を拒否する場合は、下記より必要な手続を行ってください。

■ 学校法人立命館への個人データの開示、訂正等、利用停止等の請求手続ホームページ

http://www.ritsumeikan-trust.jp/info/privacypolicy/g01_04_j/

個人情報の取扱いに関する同意書

年 月 日

立命館大学長 殿

私は、立命館大学で授業を履修するにあたり、立命館大学が「立命館大学における個人情報の取扱いについて」（別紙）を遵守することを前提に、私の個人情報を使用することに同意します。

学 部： _____ 学部

大学院： _____ 研究科

本人氏名（本人自筆）

保証人氏名（保証人自筆）

（未成年の方のみ）

本人との関係

※保証人は父母（兄弟）とします。ただし父母（兄弟）が保証人になることができない場合は、独立の生計を営み、確実に保証人としての責務を果たすことができる人にしてください。なお、社会人の場合は、配偶者や兄弟・姉妹・成人した子も可とします。

※聴講生番号(記入不要)

2018年度 立命館大学

聴講受講科目申請票

学部・研究科	フリガナ
	氏名

希望科目（他の学部・研究科で開講する科目は「他学部・研究科受講欄」に学部・研究科名を記入してください）

No.	授業コード	科目名	クラス	単位	他学部・他研究科 受講	期別	曜日	時限	担当者	備考
1						春通	秋夏			
2						春通	秋夏			
3						春通	秋夏			
4						春通	秋夏			
5						春通	秋夏			
6						春通	秋夏			
7						春通	秋夏			
8						春通	秋夏			
9						春通	秋夏			
10						春通	秋夏			
11						春通	秋夏			
12						春通	秋夏			
13						春通	秋夏			
14						春通	秋夏			
15						春通	秋夏			
16						春通	秋夏			
17						春通	秋夏			
18						春通	秋夏			
19						春通	秋夏			
20						春通	秋夏			
春学期申請者用	3月受講登録単位数		春学期科目	科目	単位	聴講料				
			秋学期科目	科目	単位					
	9月秋学期科目受講登録修正		取消科目	科目	単位					
			追加科目	科目	単位					
秋学期新規出願者用	修正後受講登録単位数		秋学期科目	科目	単位	聴講料				
	秋学期受講登録単位数			科目	単位	聴講料				

事務室記入欄（記入しないこと）

2018年度 聴講願

※出願区分	1	出願学部	8		
※整理番号					
※聴講生番号	81				

学部	学部									
大学院	研究科	生年月日	年	月	日生	申請日	年	月	日	
フリガナ					ローマ字氏名					
氏名					Ⓜ	☆本名				
							1	男		
現住所	〒 (-)				1	自宅	TEL () -			
					2	下宿他	携帯 () -			
聴講料請求先	※聴講料請求先が現住所と異なる場合のみ記入してください。 〒 (-)					TEL () -				
最終学歴	年 月 日		高等学校 (全・定)			科		卒業		
	年 月 日		大学・短期大学 高等専門学校		学部	学科	専攻	卒業 中退		
	年 月 日		大学院		研究科	専攻	課程	修了・中退 単位取得退学		
聴講許可後の職業区分 (いずれかに○印をつけてください)	1. 正社員(専任) 2. 臨時(アルバイト・非常勤) 3. 主婦 4. 無職 5. 学生(他大学正規生・大学) 6. その他 ()									
勤務先 又は 所属 学校名	名称						TEL () - 内線			
	所在地	〒 (-)								
保証人 または ご家族 の方	フリガナ				続柄	TEL () -				
	氏名									
	現住所	〒 (-)								
本学での 履修状況	年度	第1部 第2部 大学院	学部 研究科	正 規 生	学生証番号 ()	写真貼付 3cm×2.4cm (3カ月以内のもの)				
	年度	第1部 第2部 大学院	学部 研究科	聴 講 生 科目等履修生	学生証番号 ()					
	年度	第1部 第2部 大学院	学部 研究科	聴 講 生 科目等履修生	学生証番号 ()					
志望理由	下記の通り聴講を志望しますので許可くださいますようお願いいたします。									
	----- ----- -----									

(日本国籍を有しない方のみ記入してください)

※記入不要 区分コード	国 籍 (国名を記入し、第2国籍もあれば記入してください)			※記入不要 コ ー ド	区分 (いずれかに○印をつけてください)	
1	第1国籍			1	特別永住者	
2	第2国籍			2	特別永住者でない者	

- ☆本名欄は特別永住者で、通称名を使っている場合のみ記入し、氏名欄には通称名を記入してください。
- ☆複数の学部・研究科にまたがって聴講を希望する場合は、該当の事務室と相談の上、指定する学部・研究科の事務室に聴講願を提出してください。
- ☆出願時の提出書類について
 - ・ 個人情報は、法令および学校法人立命館個人情報保護規程に則り、漏洩・滅失・毀損等がないよう安全に管理します。なお不許可となった場合は、大学が責任をもって廃棄します。

申請志望 学部・研究科	※申請学部・研究科が複数の場合に記入
----------------	--------------------

☆複数の学部・研究科にまたがって申請する場合は、該当の事務室と相談の上、指定された1つの学部・研究科に提出。複数の研究科の場合も1つの研究科に提出。
(下記の欄は記入不要)

所見					
判 定	3: 許可	2: 不許可			
許 可 日	年 月 日				聴講生選考料 ¥5,000 - 立命館大学証紙受付欄
許可単位数	科目 単位(文 理)				
聴講期間	年 月 日 ~ 年 月 日				